

和泉市議会だより



発行：和泉市議会 編集：広報広聴委員会（和泉市府中町二丁目7番5号）電話：0725-99-8154（議会直通）

和泉市議会ホームページアドレス：<http://www.gijiroku.jp/izumi/index.html>

平成24年第2回定例会は6月14日開会の予定です



定例会本会議の風景（左上写真は着本議長）

平成24年度当初予算を可決

平成24年第1回定例会が、2月27日から3月26日までの29日間の会期で開催されました。

開会初日には、市長から市政運営方針が披瀝され、それに対して各会派を代表し、4人の議員が大綱質疑を行いました。

また、3月6日～12日には予算審査特別委員会を開催し、平成24年度各会計予算及び予算関連議案について審査を行い、すべて原案どおり可決しました。

最終日には、議員提出議案「和泉市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について」が上程されました。議案の提案説明が行われた後、上程された議案に対して代表の3名が意見表明し、議員の過半数が退席しました。そのため議会が成立せず休会となり、そのまま会議規則で定めた会議時間の午後5時15分に至ったので審議未了で自然閉会となりました。

目次

- 大綱質疑
・・・・・・・・・・2ページ
- 常任委員会審査報告
・・・・・・・・・・3ページ
- 予算審査特別委員会
・・・・・・・・・・4～5ページ
- 一般質問
・・・・・・・・・・5～7ページ
- 次回定例会の予定、他
・・・・・・・・・・8ページ

大綱質疑

市長の市政運営方針に対して、各会派を代表して4人の議員が大綱質疑を行いました。ここでは紙面の都合上、一部要約して掲載しています。

市長公約と再生プランについて

日本共産党

岡 博子 議員

【議員】再生プランの目的は財政破綻からの回避であるため、計画の中には市民負担を求めているものがあると思う。また、財政問題から議会で否決された市民税10%減税は、市政運営方針では実施したいと述べつつも今年度予算には計上されていない。

市民負担を伴う再生プラン実施中に計上されていない財源で10%減税を行うことは矛盾があると考え、市長の考えを聞きたい。

女性の視点からの防災対策について

公明党

原口 裕見 議員

【議員】国の防災基本計画には、2005年、2008年に「女性の参画・参加」が盛り込まれている。先の阪神・淡路大震災や昨年の東日本大震災のような大規模災害に見舞われると、特に女性や少数派の社会的弱者といわれる人の人権に対する配慮が忘れられがちになる。避難所において子どもや高齢者のいわゆる社会的弱者と向き合っているのは大半が女性である。

そこで、今後予定される地域防災計

【市長】再生プランは本市が持続的に発展するために取り組んでいるもので、市民の方々にも協力していただく部分もあり、これからのこともツケを回さない行財政改革を推進していく。

公約の市民税10%減税は、財政に余裕があるから実施するものではなく、市民負担の軽減を実施したいとの強い思いで考えた。市役所が汗をかい、まず市民の皆様にも少しでもお返しすることから始めたいと考えている。

【議員】所得の再配分が目的である税金を単純に減税するのは大いに問題があると思う。再生プランの中の市民負担部分を軽減するために減税を活用すべきである。

画の見直しの際、女性の意見が反映されるよう次のことについて要望する。

一、防災会議の女性委員の積極登用
一、防災担当と男女共同参画課の連携
一、避難所運営に女性を配置
一、女性の為の防災パンフレット作成

【市長】議員指摘のように、災害時における「女性の視点からの防災対策」は必要不可欠なものと考え、今後予定される地域防災計画の見直しに際しては、危機管理担当と男女共同参画課の連携を密にし、女性の視点からの意見を反映させていく。また避難所運営に関しては、女性に配慮した運営マニュアルを作成し、担当職員も出来る限り女性を配置するよう努めたい。

北部リージョンセンター事業の進め方について

五月会

柏 富久蔵 議員

【議員】リージョンセンター構想は第3次総合計画で市内を4ブロックに区分し、地域の特徴を活かしたまちづくりの推進や市内に不足する行政サービス施設を配置することで市内の発展と地域の振興を目的に取り組んでいると理解している。現在の第4次総合計画においてもその考えを踏襲しながら計画的かつ確実に取り組まれていることを高く評価する。そこで北部リージョンセンター事業の進め方について伺う。

機構改革におけるワンストップ化について

レインボーいずみ

浜田 千秋 議員

【議員】こども医療費・ひとり親家庭医療費助成制度をこども部に移管し、窓口のワンストップ化を推進することのことだが、全庁的にも連携が必要な課との丁寧な連絡や情報共有を徹底し、縦割り行政の歪みやツケを市民の皆様が押しつけることのないように、また必要な措置を受けることが出来ずに苦しむ人を出さないように、横の連携を強化していただきたい。

障がいのある子ども達の通所支援は

【市長】本施設は地域拠点施設であることから、地域住民の意見を取り入れるため平成23年1月から「北部地域まちづくり協議会」を発足し、現在まで11回の会議を重ねるとともに、市民説明会でいただいた意見を取り入れた構想計画、基本計画を策定した。これらの計画をもとに24年度では実施計画、25年度には造成工事及び建築工事を進めていく予定で、今後も北部地域まちづくり協議会と連携しながら行政と市民による公民協働で本事業を進めていく。

【議員】地域住民の方々が長年待ち望んでいた施設なので、より使いやすくて質の高い公共サービスを提供できるように要望する。

統合保育として受け入れられているが、その状態も多種多様で全ての子ども達を受け入れることが大変厳しい状態である。今後更なる統合保育の推進を行い、在宅で生活している介護が必要な乳幼児や障がいのある児童を一時的にでも施設等で預かり、家族がリフレッシュできる時間を持てるような取り組みを進めていただきたい。家族がどのような状況におかれても安心して生きていける施策の充実に要望する。

【市長】今後ともこども部の総合調整機能を十分に果たすためには、縦割り行政による弊害が生じることのないよう、よりきめ細かい対応を図っていくことを指示していく。

常任委員会審査報告

第1回定例会で上程された議案は各所管委員会に付託され、審議が行われました。

総務安全委員会

和泉市暴力団排除条例制定について

【委員】 会社の構成員として

暴力団員が入っているのかという調査や、条例に規定されている市民・事業者の協力について窓口はどこになるのか。

【理事者】 暴力団員であるのか、暴力団が関係する団体であるのかということ警察に照会する市側の窓口は危機管理担当、警察側の窓口は和泉警察署の暴力団担当になる。

【委員】 通報者・協力者の保護を考えれば、危機管理の窓口で相談を受ける体制では暴力団の相談に来たという事が周りに分かってしまい、いかにかと思う。そのような状態で市民や事業者が協力を呼びかけるのは無理がある。相談内容が誰にも分からないような配慮として専門の窓口を設けるべきではないか。

【理事者】 市民相談室を最初の窓口として別室に案内し、危機管理担当の警察派遣者や警察官OBが対応する等、暴力団の相談に来たことを察知されない形を考えたい。

都市環境委員会

公の施設の指定管理者の指定について（和泉市中高齢労働者福祉センター）

【委員】 地元町会との話し合いの場で「平成24年の夏から秋頃には結果をまとめるようにしたい」と言っているが、その予定で進めていくのならもっと頻りに話し合い、合意形成を図る必要があると思う。あと1年しかないという思いがあれば23年度中にもっと地元に出向いて要望も聞き、市としてできる範囲を見極め、最終的に市のめざす方向に協力願うしか解決はないのではないか。今の対応では昨年の二の舞になってしまいう感じがするがその辺りの考えは。

【理事者】 受け入れについては町会館や他の施設の利用をお願いし、確保していきたい。また、現在実施している講座等は縮小するなど閉鎖に向けて努力していきたい。

【委員】 手立てとして今まではずかしく思う。昨年のことを反省し、すぐにでも対応したい。

厚生文教委員会

平成23年度和泉市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）

【委員】 今回の補正予算は国民健康保険事業特別会計の基金に3億6千万円を積み立てるといふものである。改めて基金の積み方についての基本的な考え方を教えてほしい。

【理事者】 平成12年度以降、医療費の増加等の理由による単年度赤字が続く、平成17年度に全ての基金を取り崩した。今回の積み立てについては地方財政法第七条に基づき、平成22年度の決算剰余金の2分の1を超える額を積み立てるものである。

【委員】 今回基金を積み立てることになった要因は、平成22年度決算で黒字が発生したということである。基金に積み立てた残りは平成23年度会計に繰り越している。基金に積み立てるといふのも一つの手法かもしれないが、剰余金という形で出てくるならば保険料の軽減に活用するような工夫をしていただきたい。

定例会審議結果一覧表

件名	委員会	本会議
和泉市暴力団排除条例制定について	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
外国人登録法の廃止に伴う関係条例の整理に関する条例制定について	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
和泉市ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
岸和田市泉大津市貝塚市和泉市高石市忠岡町における広域事業者指導課共同設置に関する協議について	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
平成24年度和泉市一般会計予算	可決 (賛成多数)	可決 (賛成多数)
平成24年度和泉市国民健康保険事業特別会計予算	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
平成24年度和泉市公共用地先行取得事業特別会計予算	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
平成24年度和泉市市街地再開発事業特別会計予算	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
平成24年度和泉市介護保険事業特別会計予算	可決 (賛成多数)	可決 (賛成多数)
平成24年度和泉市和泉診療所事業特別会計予算	可決 (賛成多数)	可決 (賛成多数)
平成24年度和泉市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決 (賛成多数)	可決 (賛成多数)
平成24年度和泉市水道事業会計予算	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
平成24年度和泉市公共下水道事業会計予算	可決 (賛成多数)	可決 (賛成多数)
和泉市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決 (賛成多数)	可決 (賛成多数)
その他、議案33件、報告2件、監査報告10件、意見書6件がそれぞれ可決等されました。	審議未了	

平成24年度予算 総額約1,147億円

一般会計 603億円、特別会計 約352億円、企業会計 約192億円

新規・拡充した主な事業

- 小中学校の耐震化の前倒し
- 防犯灯のLED化
- こども医療助成の拡充
- 妊婦健診診査助成の拡充
- 消防署（仮称）旭分署、
- 和泉府中駅前再開発事業（仮称）横山分署の整備

委員会構成

◎：委員長、○：副委員長、委員：議席順

◎柏 富久蔵	○大橋 涼子	山本 秀明
原口 裕見	赤阪 和見	早乙女 実
小林 昌子	藤田 充	小野林治三夫
金児 和子	知覧 正勝	

* 予算審査特別委員会での質問項目 *（ここでは一部を掲載）

- ◇人事評価制度の充実と能力実績給の早期導入について
- ◇訴訟事件が勝訴した時の相手方への費用請求及び弁護士費用
- ◇だんじり等連絡協議会補助金の使途とちよいず申請の可否
- ◇いずみ市民活動支援事業（ちよいず）について
- ◇こども新聞作成の内容・頻度・委託先について
- ◇固定資産税の評価替えについて
- ◇老人クラブ連合会の活動補助金について
- ◇子ども子育て新システムに対する市の見解について
- ◇不育症への理解を深める施策と治療費助成について
- ◇泉北環境整備施設組合分担金について
- ◇新エネルギー導入推進（太陽光発電）事業への新しい取り組み
- ◇平成24年度農業集落排水事業計画について
- ◇まちなか商い塾チャレンジショップ等借上料について
- ◇公園の良好な維持管理をめざし、地元団体に部分委託すべき
- ◇市営住宅におけるルームシェアリングの考え方について
- ◇消防署職員の業務について
- ◇和泉市消防署・府中出張所閉所後の跡地利用について
- ◇通学路に対する安全確保の考え方について
- ◇学校司書ボランティアの勤務労働条件改善について
- ◇学校給食について
- ◇食物アレルギー対応の研修会の必要性について
- ◇和泉市立図書館の図書購入予算について
- ◇スポーツ推進基本計画策定委託料について
- ◇スポーツ施設整備事業費12億円は再生プランで確保しているのか
- ◇報告ミスで生じた介護保険調整交付金の顛末は
- ◇介護保険第5期計画から
- ◇専用水問題を放置する事は水道事業経営上、看過できない
- ◇市立病院への巨額な補助金約17億円の支出根拠について

討論

本会議最終日の予算委員長報告に対する一般会計並びにその他会計の討論を一部要約して掲載しています。

一般会計予算

【反対討論】大阪府人権協会負担金支出など人権行政については、一定の見直しはされているが支出そのものをやめるなど同和行政を終了するには至っていない。小栗の湯共同浴場については、指定管理料に組み込む形で赤字補填した予算である。南池田第一、第二保育園の民営化を進めるための移管選考委員会についての予算が計上されている。保育の公的責任を守る必要が改めて大事になっており、南池田保育園は公立園での存続を行うべきである。自校直営方式で実施されている学校給食の運営検討委員会については、学校教育の一環としての給食や地産地消、アレルギー対策など現行の行政水準が後退することのないよう、さらに前進するための検討を要望する。

【賛成討論】災害に強い安全なまちづくりとして、小中学校の耐震化を前倒しするなど市民の安全確保に向けた取り組みを積極的に展開している。環境では、市内の防犯灯のLED化や住宅用太陽光発電設備設置補助事業の拡充など地球温暖化対策に向けて取り組んでいる。子育て支援では、こども医療費助成等の拡充を図り、経済的な負担軽減に努めている。活気あるまちづくりに向け、（仮称）和泉シティプロモーション戦略プランより具体的なプランを策定し、次期総合計画に引き継げるよう取り組んでほしい。他の施策についても多様化する市民ニーズを反映した施策を展開している。

その他会計予算

◇介護保険事業
保険料の月額基準額が5、0

92円となり約8%の値上げである。市民アンケートでも負担が大きいという回答が多い。市民の負担軽減を市長公約に掲げていることから更なる努力をすべきである。

◇和泉診療所事業

地域医療の中核的役割を継続することが望ましいのであれば、診療科目、市立病院との関係、地域医療の位置付けと合わせて健康会への委託問題などに結論を出し、正していくべきである。

◇後期高齢者医療事業

値上げを抑えたと言うが、今後も2年ごとに値上げが続く。まさに制度設計に問題があり、廃止すべきである。

◇公共下水道事業

巨額の費用を投じて公共下水道を敷設するにしても20年間生活排水対策が完了しないことを選択するのか、約10分の1の費用で合併浄化槽を設置し直ちに完了するのか、どちらが合理的で市財政に負担が少ないか一目瞭然である。

◇病院事業

経営改善に向け、色々な取り組みをしていることは認めるが、根本的な問題解決には道遠しと言わなければならない。一日も早く改革への道筋をつけるべきで、市の補助金に頼りきっている。

14人の議員が 一般質問

子どもの安心・安全 通学路の「グリーンベルト」

小野林 治三夫 議員

【議員】 通学路の安全確保のため、2年前から取り組んでいるカラー舗装化の進捗状況はどうなっているのか。

【理事者】 全小学校21校の内11校20箇所が挙げられていて、全ての完成まであと5年程度かかる。

【議員】 残り10校は本当に危険箇所はないのか。この「命を守る」すばらしい取り組みを今年度地域の方々にも意見を伺って実現できるのか。

【理事者】 市としては有効な施策と考えていることから、漏れがないように再度学校に調査した上で年次計画を立て、できるだけ多くの校区で実現できるように着実に整備を進めていきたい。

【議員】 これからの日本を担う子どもは「国の宝」である。この大切な子ども達のために日々見守って下さっている地域の方々を察して一日も早くこの事業を完成していただきたい。

教育行政について

矢竹 輝久 議員

【議員】 24年度の国と府の学力テストの実施予定は。

【理事者】 国の調査は4月に行われ、理科が追加される。府の調査は6月の予定で、実施要領の一部が変更され、調査結果の取り扱いについて①個人成績票（個票）に当該学校の平均正答率を記載②学校は調査結果を説明する③府・市教委は学校別結果の公表はしないとなっている。

【議員】 府のテストに参加する

メンタルヘルスについて

辻本 孔久 議員

【議員】 長期休暇者の内、精神疾患の職員数を聞きたい。

【理事者】 24年2月末までで29名である。

【議員】 近隣他市と比較すると突出している。10市の平均が1・24%に対し、和泉市は2・48%と2倍である。メンタルヘルス対策の取り組みを聞きたい。

【理事者】 医師の定期的な相談、

るのか。

【理事者】 変更に伴う問題点として、個票での学校平均正答率の提供が結果的に公表するのと同じことであり、学校別結果の公開は学校の序列化につながりさまざまな影響を及ぼすことが考えられる。しかし参加しない場合の学力把握をどうするのか考える必要がある。教育委員会において参加について検討している。

【議員】 4月に国の学力テストに参加するのだから、府のテストに無理して参加しなくてもいいのではないかと思う。

■その他の質問項目
・基礎自治体への権限移譲

全職員への研修、管理職には部下の不調の早期発見・対処法の研修を実施している。

【議員】 種々の取り組みに成果がない。他に何か考える必要があるのではないのか。

【理事者】 24年度に新規事業として全職員にメンタルヘルス検診を実施していく。

【議員】 研修や新規事業を行う事も大切だが、自分のストレス解消法を見つけ、自己防衛に努める事の指導も必要。

■その他の質問項目
・武道必修化について
・いずみ箱の廃止について

看護助手について

浜田 千秋 議員

【議員】 看護師業務について、特に入院退院時にかかりの負担があるようだが、その対策はどのようにされているのか。

【理事者】 入院患者が増加してきたことに伴い、退院時の患者への指導等が十分に行えていない状況であることから、各病棟に看護助手の採用を行っている。これにより看護師が本来の業務に専念できると同時に、患者に対するサービスも向上し、診療報酬の加算も得ることができ、経費以上の収益増につながると考えている。

【議員】 現在、看護助手はヘルパーの資格がなくても応募できるとのことなので、市の労働政策担当と連携して、一日も早い配置をお願いする。

■その他の質問項目
・和泉スイーツについて



消防団と自主防災組織の役割について

石原 日出子 議員

【議員】消防団組織・自主防災組織の役割について教えてほしい。

【理事者】消防団は市町村の非常備の消防組織であり、消防団員は他に本業を持ちながら、権限と責任を有する非常勤特別職の地方公務員として地域防災の要として大きな役割を果たしている。自主防災組織は「自分たちの町は自分たちで守る」との地域住民の連帯意識に基づき防災活動を行う組織である。

【議員】災害時には日ごろ行っていることしかできない。消防本部・消防団、自主防災組織が常に情報交換や防災訓練の中で役割分担を明確にし、お互いの顔が見える活動を常日ごろから行うことが大切だと思う。その中で築かれた人間関係、信頼関係がいざ災害が起きた時、被害の軽減につながる大きな力になる。市としても合同訓練の開催に積極的に取り組んでほしい。



保育園に関連して

服部 敏男 議員

【議員】23年10月と現在の待機・保留児童数は。また、待機児童を減らす取り組み状況は。

【理事者】23年10月の待機は72名、保留児童数は410名。24年4月現在の待機は未確定、保留児童数は340名である。待機児童を減らすための取り組みとして、保育園の統廃合・民営化や既存の保育園の建替えなどによる定員増を予定している。

【議員】仕事を見つけないために入園させたいが、就労が入園の要件になっているため入

和泉市から考える放射能対策 パート2

大橋 涼子 議員

【議員】大阪府は昨年末、府民への説明をすることなく震災がれき受入れの指針を発表し、1月には各自治体に向けて説明会を開催している。国基準より厳しい数字を示したところがない。府の指針に対する和泉市の見解は。

【理事者】数字や海面処理など、是非の判断はしかねる。

【議員】市として独自に内容

園できないという状況に対する見解は。

【理事者】保育所に入所できない場合は公立2園・民間6園で行っている一時保育、もしくは認可外保育施設を利用して頂く方法等の情報を提供しているところである。

【議員】保育料の減免制度は。

【理事者】当該月全日欠席の場合は全額免除となるが、1日でも出席すれば1か月分の徴収となる。

【議員】他市では途中退所・入所の場合は日割りの保育料にする規定がある。本市でも検討を要する。

【その他の質問項目】学校、通学路の安全対策を検討し、しっかり判断をすべきである。がれき処理の支援は受入れだけではない。現地で確かな管理の下に行われる処理に多面から支援していくことが大切だと考える。

【理事者】協力は必要だが安全性についてはっきり示され

ておらず、泉北環境を構成する3市で総合的に判断したい

と考えており、現在のところ受け入れるという考えは持っていない。

【その他の質問項目】自治基本条例の推進について

【議員】換言すれば各自治会

自治会等における「広報いずみ」の配布について

杉本 淳 議員

【議員】現在「広報いずみ」は平成23年度から和泉市内の全世帯にシルバー人材センターが配布しており、各自治会に配布手数料として当センターから支払われているが、これ

はどういう理由からか。

【理事者】市から受託した当センターが各自治会に再委託し、その配布手数料として振り込んだものである。

【議員】換言すれば各自治会

奨学金制度について

岡 博子 議員

【議員】高校の授業料が無償化となったが、市の奨学金の利用状況はどうか。

【理事者】H22年は49件、H23年は76件、H24年は14件で、今年度申込みの減少は、府の奨学金や福祉資金との併給を不可としたからだと思われる。

【議員】本来、生活支援が目的である他の福祉資金との併給ができないというのはおかしいのでは。

【理事者】生活福祉資金のよう

に原則他の公的資金との併給不可のものもあるが、本市の奨学金との併給については、高校の必要経費等を考慮し今後の検討課題にしたい。

【議員】府内では返還不要の給付型が増え、現在11市ある。本市は小中学の就学援助金に3億円近く助成できている。和泉市奨学金も5百万円程度の予算で可能なので、給付型にしてほしい。

【理事者】この1年間に研究を深め、年度末には報告したい。

【その他の質問項目】広報（お知らせすること）が当センターから再委託を受けたということになるが、何らかの形で契約が成されたのか。

【理事者】両者の間で契約書は取り交していないと聞いている。

【議員】当センターから自治会へ支払いが行われた点において大いに疑問が残る。

【理事者】ご指摘の点については町会連合会と協議の上、契約内容の見直しや支払方法等について検討する。

【その他の質問項目】覚えていますか？（いずみ箱、LED、敬老祝金、等）

【議員】覚えてますか？（いずみ箱、LED、敬老祝金、等）

【議員】覚えてますか？（いずみ箱、LED、敬老祝金、等）

【議員】覚えてますか？（いずみ箱、LED、敬老祝金、等）

【議員】覚えてますか？（いずみ箱、LED、敬老祝金、等）

【議員】覚えてますか？（いずみ箱、LED、敬老祝金、等）

【議員】覚えてますか？（いずみ箱、LED、敬老祝金、等）

【議員】覚えてますか？（いずみ箱、LED、敬老祝金、等）

市立病院の老朽化と財源問題について

山本 秀明 議員

【議員】24年度から27年度まで約68億円の補助が一般会計から病院会計へ繰り入れされる。その内の病院への貸付を帳消しにするための補助金21億円の財源を市は確保できているのか。

【理事者】財源は水道会計から借り入れており、28年度から7年間で、毎年3億円返済する予定である。

【議員】市立病院の建物は耐

南部のまちづくりについて

友田 博文 議員

【議員】南部地域における人口減少や少子高齢化・過疎化など、課題について今まで数回にわたり指摘してきたが問題解決に至っていない。現在の状況はどのようなものか。南部地域の実情を踏まえ、今後の対策をどう考えているのか。

【理事者】かねてから南部地域における大阪外環状線沿道の土地利用及び人口減少や少

用年数を超えているものもあり、府内で一番老朽化している。建替えの検討を進めていくべきと思うが市の考えは。

【理事者】施設の建替えの必要性は認識するが、現在の財政状況を勘案すると一般会計から支援するのは大変厳しいと考える。

【議員】市立病院の赤字補填で財政が硬直化し、必要な投資を先延ばしにしている現状である。

24年度に設置する「有識者会議」で経営形態見直しを含め、病院の展望についての道筋をつけてほしい。

子高齢化の進行に関する問題を提起されている。

今後は連携したまちづくりの取り組みについて関係所管に発信するとともに独自制度の導入を検討する必要があると考え、各種施策の動向を勘案した都市計画マスタープランの見直しが必要であると認識している。

まずは地域の現状を把握した上で平成27年度を目標に都市計画と整合した市独自の開発許可制度の導入を図ってみたい。

■その他の質問項目
・消防について

社会福祉協議会と福祉公社、シルバー人材センターについて

藤田 充 議員

【議員】社会福祉協議会と福祉公社の今後は。

【理事者】福祉公社は、法に基づく「公益法人」、「一般人」または他の類似の団体の統合などを検討している。社会福祉協議会も福祉公社との統合等につき検討している。

【議員】福祉公社には正職員1人、再雇用職員2人、再任用職員1人のほか、プロパー

職員13人が頑張っている。現状の雇用体制を維持するのか。

【理事者】統合への方向性が示された後、市及び両団体との協議のうえ決定していく。

【議員】シルバー人材センターの事務所が隣の会議室に移動した。会員数は1,775人。

今後さらに高齢化が進み、就業意欲のある高齢者が増えることは想定できる。受注高は23年度末で6億4千万円の見込である。4月から公益社団法人になり、自立への更なる飛躍が期待される。市として支援強化をお願いする。

生産緑地について

小林 昌子 議員

【議員】和泉市には94haの生産緑地があり、23年度の税額は201万円。それを全て市街化農地として課税すれば1億259万円となり、約50分の1である。近々の生産緑地を調べると、草が生い茂り公道に面しておらずフェンスで囲ってあるなど到底生産緑地と思えない所がある。生産緑地の現地確認はしているか。

【理事者】確認はしていない。

今後速やかに1年かけ現地調査をし、その後は3年サイクルで確認する。標識杭を看板にするかどうかは今後検討する。市では公道に接することと条件として指定をしているが、その件について国・府に早急に確認する。

【議員】生産緑地は適正に管理する事で税の恩恵を受けている。また、いざという時は避難地として立ち入っても良い土地である。そのためにも分かりやすい看板の設置が必要である。

■その他の質問項目
・清掃事業 / 生活排水対策

観光情報ステーション等のあり方について

知覧 正勝 議員

【議員】和泉府中駅前再開発の余地を観光情報ステーション等に活用してはどうか。

【理事者】和泉府中駅が平成25年に新しくなり、その玄関口になる余地は和泉市をPRするという当初の観光の目的からすると地域の活性化を図り、商工業の振興においても重要な施策で、観光情報ステーションの立地条件としては良好な場所であると考えてる。

【議員】余地の利用については各課色々な考えがあると思うが、市がアピールできる最高の場所だと思うので、そこに複合施設を建設すれば、就労訓練の場や観光情報ステーション等、多目的な施設活用ができるのではないかと。

【理事者】幅広く有効な利活用について庁内関係課と調整したい。

【議員】ぜひ前向きに検討願う。

■その他の質問項目
・市所有の竹林の利用について



トピックス



議会運営委員会視察報告

平成24年1月25日に本市議会の議会運営委員会として初めて行政視察を行い、堺市議会で「議会改革の取り組み」について学びました。

堺市議会では、平成23年5月の改選後に「議会力向上会議」という組織を立ち上げ、議会改革について熱心に議論されました。そこでは主に議会基本条例についての議論、議場内ノートパソコン・タブレット端末の持ち込み、議場内スクリーンの設置、政策型議員提案条例の制定などについて話し合われ、実施されています。

大阪府内初!!

開かれた議会をめざして



ユーストリームによる
映像配信を開始

和泉市議会では、既に議場で行う本会議及び予算・決算審査特別委員会の映像をインターネット配信しておりますが、この度新たに本年6月からユーストリームを利用して常任委員会の映像配信を試行的に開始します。

ユーストリームとは、無料でライブ中継できるウェブサービスで、近年、各自治体で映像配信を行う手段として導入が検討されています。



ツイッターはじめます

市民の皆さまへ積極的かつリアルタイムに情報提供を行うため、インターネット接続が可能なパソコンや携帯電話などで利用できる140文字以内の短文（ツイート）を投稿・閲覧する無料のコミュニケーションツール「ツイッター」を利用して、定例会の日程やホームページの更新など議会情報の発信を試行的に開始します。

詳細は和泉市議会ホームページをご覧ください。

和泉市議会

検索



傍聴してみませんか

議会を傍聴してみると、現在市が取り組もうとしている施策が分かり、市政に関心を持つきっかけにもなります。

傍聴券に住所、氏名を記入するだけで傍聴できます。

・議 場・・・1号館4階

入口は1号館3階の税務室資産税横にあります。車いすの方は議会事務局までお越しください。

・委員会室・・・3号館3階

※会議の種類は下記の「定例会の予定」をご覧ください。

第1回定例会の傍聴者数

本 会 議 2月27日～3月26日 のべ27人
常任委員会 2月28日～3月1日 のべ4人
予算審査特別委員会 3月6日～12日 のべ4人

第2回定例会の予定

議事の都合により日程や開会時間に変更される場合もありますので、詳しくは市議会事務局へお問合せください。

日 程	会 議	場 所	開会時間
6月7日(木)	議会運営委員会	委員会室	午後1時
6月14日(木)	本会議（議案審議）	議 場	午前10時
6月15日(金)	厚生文教委員会・協議会	委員会室	午前10時
6月18日(月)	都市環境委員会・協議会	委員会室	午前10時
6月19日(火)	総務安全委員会・協議会	委員会室	午前10時
6月20日(水)	議会運営委員会	委員会室	午後1時
6月26日(火)	本会議（一般質問）	議 場	午前10時
6月27日(水)	本会議（一般質問）	議 場	午前10時
6月28日(木)	本会議（一般質問）	議 場	午前10時
6月29日(金)	本会議（議案審議）	議 場	午前10時

6件の意見書を可決

関係省庁等に送付しました

- ◆ 基礎自治体への円滑な権限移譲に向けた支援策の充実を求める意見書
- ◆ 「こころの健康基本法（仮称）」の法制化を求める意見書
- ◆ 若者雇用をめぐるミスマッチ解消を求める意見書

- ◆ 大阪府立臨海スポーツセンターの大規模改修による存続を求める意見書
- ◆ 障害者総合福祉法（仮称）の早期制定を求める意見書
- ◆ TPP（環太平洋経済連携協定）への参加中止を求める意見書